

社会福祉法人 落穂会

旭福祉センター・第二旭福祉センター

令和2年度事業計画書

第二旭福祉センター 施設長 水流 健一

(1) 中長期計画の策定・・・中長期プロジェクトメンバー

昨年度立ち上げた中期経営計画策定委員会を継続し、今年度中に法人全体の中期経営計画を策定することを目標とする。具体的なアクションプランまで策定し、令和3年度からの運用に向けて準備を進める。

(2) 職員必携の活用・・・職場改善2委員会

- ① 朝礼及び職員会議の場を活用し、職員必携の読み込みを行う。
 - ② 職員必携に関する具体的題目を年2回挙げ、感想文を提出する。
- 以上、これらを確実に実施することにより職員必携の理解度を深める。

(3) 地域と密着した活動の推進・・・地域貢献委員会

今年度も引き続き岡之原町内会の3班と10班の受け入れを実施予定。棒踊り保存会への出席を含め、積極的に地域行事や地域活動に参加する。また、地域との関係性を構築することそのものに価値があると位置づけ、各部署(入所・第二作業所・ベーカーリー楓・NODOKA・各グループホーム・施設外就労)は、それぞれに地域との交流をより深いものとするように努める。

(4) 人材育成(職員育成制度の円滑な実施)・・・主任級会議

- ① 作業班別育成シートの運用を確実に行う。また、実施状況の確認と今後の方策について作業委員会・育成担当職員との間で協議(10月予定)し、継続的な育成シートの運用及び、シート有効活用の深度を上げる。
- ② 新人育成システムについて、特に入職直後から1年間のカリキュラムを確実に実施する。また、チューター制度の一部見直しを行うとともに、する側される側へのフォローアップ研修を実施、両者のレベルアップに繋げることで経験の少ない新人職員のケアと資質の向上を図る。
- ③ 先輩職員による現場OJTを積極的に推奨し、後輩職員の育成に努める。
- ④ 中堅職員育成計画の5年目となる今年度は、対象職員に対し年2回の面接とスキルアップ研修を実施、中堅職員の更なる資質向上を図る。

(5) 職場環境の充実・・・総務委員会

- ① ノー残業デー(毎週金曜日)を設け、ワーク・ライフ・バランスの充実を図る。

- ② 有給休暇取得 一人当たり 10 日以上の取得を目標とし、また、4 日以上の連続休暇を年 2 回以上 取得することを目標とする。

(6) 予算業務の改善・・・事務・内田主任補佐

予算執行における補正予算承認前の支出を改善するため、支出状況を随時確認する体制を確立し、計画的な設備改修・備品購入を徹底する。

(7) 利用者・家族へのニーズに合わせた質の高い支援の提供・・・支援委・生活委

- ① 利用者の個別ニーズを作業・生活両面からの視点で的確に把握し、ニーズに合った短期目標・長期目標を支援計画に掲げ利用者支援の向上を図る。また、権利擁護・虐待防止に関わる研修・虐待防止ハンドブック等を活用した研修等を今年度も引き続き行い、充実した支援体制を確立させる。
- ② 年 3 回の家族代表者委員会・毎年 8 月の家族総会・1 月の新年会などを通し、家族との連携を深める。また、福祉施策の動向について家族へ情報提供を行う。

(8) リスクマネジメントへの体制づくり強化・・・野田副施設長

- ① 年 2 回の防災訓練と年 1 回の自主訓練に加え、非常災害時の模擬訓練を年 1 回実施し、非常事態の備えに対応できる体制づくりを構築する。
- ② 備蓄品(非常食と非常時の設備備品)の定期点検及び補充の実施を行う。

(9) 就労支援に関する情報収集・強化・・・就労移行担当者・B型担当者

- ① 引き続き就労移行支援事業についての体制強化を図る。今年度は先進事業所への外部研修などを通じ、就労移行支援担当者のスキル向上や移行支援のノウハウを学ぶ機会を設けるとともに、就労者 1 名の輩出を目標とする。
- ② 旭福祉センター・第二旭福祉センターの双方にある就労継続支援 B 型事業の令和 2 年度目標工賃について月額 28,000 円以上を目標とする。

(10) 各種作業部門 製販計画の達成・・・作業委員会

今年度も各作業班別 育成シートの完全実施を重点目標と定め、職員の能力向上を目指す。また、各作業班が策定した製販計画の達成を目指す。

(各作業班別の重点目標と売上目標)

作業班別	令和 2 年度重点目標	R 2 年度目標額
NODOKA	集客率アップ・接客サービス向上・新メニュー開発	7,500,000
楓 (菓子班)	人材育成(育成シート活用、利用者スキルアップ)・協力体制の確立	17,500,000
竹工	人材育成シート活用による職員育成 コスト意識の向上 新規作業考案の為の情報収集	2,750,000

蔬菜	育成シートを活用した人材育成 職員、利用者の技術向上 協力体制の確立	4,200,000
陶芸	成型から焼成までの丁寧な作品作り	1,250,000
施設外就労	各顧客との連携強化・利用者支援の充実・ 施設外就労の制度理解	5,200,000
メンテナンス	育成シートと研修を活用した人材育成 医療関連サービスマークの更新準備	23,000,000
味噌	関係部署との連携 生産、行事等への早期計画	1,400,000
合 計		62,800,000

以上